

平成 27 年度 設計業務等標準積算基準 改正概要  
(平成 27 年 10 月 1 日改正)

●設計業務等標準積算基準、同(参考資料)

No.	項目	内容	備考
1	全体	<p>・職種の新設・改正</p> <p>測量・地質調査で計上されていた「賃金」を「<u>直接人件費</u>」に改正</p> <p>「普通作業員」→「<u>測量補助員</u>」(測量)</p> <p>「普通作業員」→「<u>地質調査員</u>」(地質調査)</p> <p>「普通船員」→「<u>測量船操縦士</u>」</p> <p>※上記改正に伴い、各工種の歩掛が改正</p>	1-1-1、2-1-1、 参 1-2-1、各工種の歩掛
2	土木設計業務	<p>「設計業務」→「<u>土木設計業務</u>」</p> <p>契約書と表現を統一(共通仕様書も改正)</p>	—

●設計業務等標準積算基準

No.	項目	内容	備考
1	測量業務 1-1 打合せ等	<p>各歩掛に設定していた「<u>打合せ協議</u>」の歩掛を、「<u>打合せ等</u>」として第 1 節共通に歩掛を共通化</p> <p>※<u>打合せの歩掛に、打合せ議事録作成及び移動時間が含まれる</u>ことを明記</p> <p>※<u>中間打合せに、主任技術者を同席させる歩掛に改正</u>(<u>特記仕様書に明記すること</u>)</p>	1-2-1 [資料 3-2 P1]
2	測量業務 各工種の歩掛	<p>各費目の<u>直接人件費</u>に対する割合(機械率、通信率、<u>材料率</u>)を改正</p>	各工種の歩掛
3	地質調査 1-1 打合せ等	<p>各歩掛に設定していた「<u>打合せ協議</u>」の歩掛を、「<u>打合せ等</u>」として第 1 節共通に歩掛を共通化</p> <p>※<u>打合せの歩掛に、打合せ議事録作成及び移動時間が含まれる</u>ことを明記</p> <p>※<u>中間打合せに、主任技術者を同席させる歩掛に改正</u>(<u>特記仕様書に明記すること</u>)</p> <p>※<u>関係機関協議資料作成、打合せ協議を新設</u> 必要な場合は、1 機関 1 回程度を計上できる</p>	2-2-1 [資料 3-2 P2]
4	地質調査 第 2 節 機械ボーリング	<p>土質ボーリングの「<u>ノンコア</u>」を S コード化(<u>SB702</u>)</p>	2-2-3

No.	項 目	内 容	備考
5	<u>土木設計業務</u> 1-1 打合せ等	各歩掛に設定していた「打合せ協議」の歩掛を、「打合せ等」として第1節共通に歩掛を共通化 ※打合せの歩掛に、 <u>打合せ議事録作成及び移動時間が含まれることを明記</u> ※業務難易度に応じて、 <u>歩掛 A（難易度高い）と歩掛 B（難易度低い）を設定</u> ※歩掛 A の場合、中間打合せに <u>管理技術者を同席させる歩掛に改正（特記仕様書に明記すること）</u> ※ <u>関係機関打合せ協議を新設</u> 必要な場合は、1 機関 1 回程度を計上できる	3-2-1 [資料 3-2 P3]
6	<u>土木設計業務</u> 2-1 道路概略設計	設計延長について明確化するため、「 <u>設計延長と比較路線の成果を要求する場合は、それぞれの延長の合計を設計延長として計上する。</u> 」と明記	3-2-2
7	<u>土木設計業務</u> 14-1 樋門設計	基準適用範囲を明確化するため、「 <u>函渠縦断方向の耐震設計（レベル2）、地震時保有水平耐力法を用いる耐震設計（レベル2）を実施する場合は、別途計上する。</u> 」と明記	3-2-140
8	<u>土木設計業務</u> 14-2 河川排水 機場設計	基準適用範囲を明確化するため、「 <u>地震時保有水平耐力法や有限要素法を用いる耐震設計（レベル2）を実施する場合は、別途計上する。</u> 」と明記	3-2-147
9	<u>土木設計業務</u> 15-3 溪流保全 工の設計	名称を、「 <u>流路工</u> 」から「 <u>溪流保全工</u> 」に改正	3-2-184,185
10	<u>調査、計画業務</u> 1-1 打合せ等	各歩掛に設定していた「打合せ協議」の歩掛を、「打合せ等」として第1節共通に歩掛を共通化 ※打合せの歩掛に、 <u>打合せ議事録作成及び移動時間が含まれることを明記</u> ※ <u>中間打合せに管理技術者を同席させる歩掛に改正（特記仕様書に明記すること）</u> ※ <u>関係機関打合せ協議を新設</u> 必要な場合は、1 機関 1 回程度を計上できる	4-1-1 [資料 3-2 P4]

●設計業務等標準積算基準(参考資料)

No.	項 目	内 容	備 考
1	総則 2-1 設計価格等の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「設計単価」を「設計価格」に改正</li> <li>・<u>税抜設計価格の端数処理を改正</u> 「四捨五入」→「切り捨て」</li> <li>・「<u>設計価格は、標準歩掛による単価、市場単価、特別調査による単価、見積もり等をもとに、実勢の価格を反映するものとする。</u>」と明記</li> </ul>	参 1-1-1
2	総則 3-1 冬期歩掛補正	債務業務や繰越業務に対応するため、(4)の「設計変更等により <u>工期に伸縮を生じる場合の補正率は、原則として当初設計の補正率によるものとする。</u> 」に、「 <u>なお、補正することが著しく不適当な場合については、この限りではない。</u> 」と追記	参 1-1-6
3	総則 1-2-4 旅費交通費の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に滞在して業務を行う場合の往復旅行時間は、これまで「基準日額」を計上していたが、「<u>直接人件費として別途計上する</u>」と改正（以下(1)、(2)に注意）</li> </ul> <p>(1)直接人件費は、<u>旅費交通費の単価表に、「往復旅行時間に係る直接人件費」として計上する。</u>（積算システムのSコードは変更無し）</p> <p>(2)打合せ等の歩掛に「<u>移動時間（片道所要時間1時間程度）を含む</u>」と明記されることから、<u>移動時間が1時間程度を超える移動が見込まれるときは、別途直接人件費を計上する。</u></p>	参 1-2-4 参 1-2-7～11 [資料 3-2 P5]
4	測量業務 1-1 運用基準	工期の算定について、 <u>業務価格が12,000千円を超える場合の算定式を改正</u> $P1=30.0+0.0082x \rightarrow P1=41.0+0.0082x$	参 2-1-1
5	測量業務 1-6 安全費の積算	労務費の定義に併せ改正 交通誘導員 → 交通誘導警備員	参 2-1-5
6	測量業務 第5節 空中写真測量	飛行機の撮影・計測基地の変更により、 <u>図2-5-13 撮影・計測基地一覧を改正</u>	参 2-2-22
7	地質調査 1-1 運用基準	工期の算定について、 <u>業務価格が12,000千円を超える場合の算定式を改正</u> $P1=30.0+0.0082x \rightarrow P1=31.0+0.0082x$	参 3-1-1

No.	項 目	内 容	備考
8	<u>土木設計業務</u> 1-1 運用基準	工期の算定について、 <u>業務価格が 12,000 千円を超える場合の算定式を改正</u> $P1=75.0+4.5 \times 10^{-3}+1.2 \times 10^{-8}x^2$ → <u><math>P1=74.0+4.5 \times 10^{-3}+1.2 \times 10^{-8}x^2</math></u>	参 4-1-1
9	<u>参考資料</u> 1-2 発注者支援	<u>標準歩掛（3）の名称を改正</u> 「発注者支援」→「 <u>監督員補助</u> 」 <u>監督員補助を S コード化（SC830）</u>	参 7-B-5
10	<u>参考資料</u> 第 2 節 補完業務委託積 算基準	<u>補完業務（SC830）の標準歩掛を 1km 当りに改正</u> 併せて、標準歩掛の <u>補正式を改正</u> ※補正係数（y）の算定式 $y = x \times (163.51 \times x^{-0.387}) / 100 \rightarrow \underline{y = x^{0.613}}$	参 7-B-7 [資料 3-2 P6]

## 第 2 章 測量業務標準歩掛

費目コード X1000

## 第 1 節 共 通

## 1 - 1 打合せ等

コード番号 SA030(県内業者) SA040(県外業者)

(1 業務当たり)

区分		測量主任技師	測 量 技 師	測 量 技 師 補	備 考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	<u>0.5</u>		0.5	1 回当たり (対面)
	成果品納入時	0.5	0.5		(対面)

- 備考 1. 打合せ，関係機関打合せ協議には，打合せ議事録の作成時間及び移動時間（片道所要時間 1 時間程度）を含むものとする。
2. 打合せ，関係機関打合せ協議には，電話及び電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
3. 中間打合せの回数は，各節によるものとし，各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合せ回数を増減する場合は，1 回当たり，中間打合せ 1 回の人員を増減する。
- なお，複数分野の業務を同時に発注する場合は，主たる業務の打合せ回数を適用し，それ以外の業務については，必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

## 第2章 地質調査標準歩掛等

### 第1節 共通

#### 1-1 打合せ等

コード番号	SB040(県内業者)	SB050(県外業者)
-------	-------------	-------------

(1業務当たり)

区分		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	備考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5			(対面)
	中間打合せ	<u>0.5</u>		0.5		1回当たり(対面)
	成果品納入時	0.5	0.5			(対面)
<u>関係機関協議資料作成</u>				0.25	0.25	1機関当たり
<u>関係機関打合せ協議</u>			0.5	0.5		1機関当たり(対面)

- 備考
1. 解析等調査業務を含まない地質調査の業務の発注において打合せを規定する場合には、本歩掛は適用せず別途計上する。
  2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間(片道所要時間1時間程度)を含むものとする。
  3. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
  4. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。  
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。
  5. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

## 第2章 土木設計業務等標準歩掛

費目コード X6000

### 第1節 共通

コード番号	SC050(県内業者)	SC060(県外業者)
-------	-------------	-------------

#### 1-1 打合せ等

##### (1) 標準歩掛A (業務難易度が高い場合)

(1業務当たり)

区分		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	備考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5	0.5		(対面)
	中間打合せ	<u>0.5</u>	0.5	0.5		1回当たり(対面)
	成果品納入時	0.5	0.5	0.5		(対面)
関係機関打合せ協議		0.5	0.5			1機関当たり(対面)

- 備考 1. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間(片道所要時間1時間程度)を含むものとする。
2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
3. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。  
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。
4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。

##### (2) 標準歩掛B (業務難易度が低い場合)

(1業務当たり)

区分		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	備考
打合せ	業務着手時	0.5	0.5			(対面)
	中間打合せ		0.5	0.5		1回当たり(対面)
	成果品納入時	0.5	0.5			(対面)
関係機関打合せ協議		0.5	0.5			1機関当たり(対面)

- 備考 1. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間(片道所要時間1時間程度)を含むものとする。
2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。
3. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。打合せ回数を変更する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。  
なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。
4. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。
5. 業務難易度が低い場合とは、単純な業務で、複数の担当技術者を要しない場合等をいう。

# 第1章 調査、計画標準歩掛

## 第1節 共 通

### 1-1 打合せ等

(1 業務当たり)

区分		主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	備 考
打合せ	業 務 着 手 時	0.5	0.5	0.5		(対面)
	中 間 打 合 せ	<u>0.5</u>	0.5	0.5		1回当たり (対面)
	成 果 品 納 入 時	0.5	0.5	0.5		(対面)
<u>関係機関打合せ協議</u>		0.5	0.5			1機関当たり (対面)

備考 1. 各節に定めのある場合は、それによる。

2. 打合せ、関係機関打合せ協議には、打合せ議事録の作成時間及び移動時間 (片道所要時間1時間程度) を含むものとする。

3. 打合せ、関係機関打合せ協議には、電話、電子メールによる確認等に要した作業時間を含むものとする。

4. 中間打合せの回数は、各節によるものとし、各節に記載が無い場合は必要回数を計上する。

なお、複数分野の業務を同時に発注する場合は、主たる業務の打合せ回数を適用し、それ以外の業務については、必要に応じて中間打合せ回数を計上する。

5. 関係機関打合せ協議の回数は、1機関当たり1回程度とする。なお、発注者のみが直接関係機関と協議する場合は、関係機関打合せ協議を計上しない。



頁	新	旧																																																																																																																						
第7編参考資料 B.発注者支援	<p><b>第2節 補完業務委託積算基準</b></p> <p><b>2-1 適用範囲</b>                      本歩掛は、道路、河川の設計において与えられた資料にもとづいて土工（路盤舗装等の面積算出を含む）及び構造物の数量を算出するものである。                      本歩掛表は下記に示す範囲の設計業務に適用する。</p> <p>1) 当初の実施設計または詳細設計の資料を与え、それを基本として土工及び構造物等の数量のみを見直す場合に適用する。                      2) 中心線、縦断、横断を変更する場合には適用しない。                      3) 測点間隔は20mを標準とする。</p> <p><b>2-2 業務委託料の積算</b>                      「設計業務等積算基準」に準ずる。</p> <p><b>2-3 土木、構造物等数量算出歩掛</b>                      (1) 標準歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">SC890</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(1km当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>技師 ( B )</th> <th>技師 ( C )</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 地 調 査</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平 面 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦 断 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横 断 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土 工 数 量 算 出</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構 造 物 数 量 算 出</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.4</td> <td style="text-align: center;">7.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考) 1. 図面作成については、必要に応じてそれぞれの歩掛を計上する。                      2. 設計協議のメンバーは、技師 ( B ) 1名程度を標準とする。</p> <p>(2) 標準歩掛の補正                      次式により標準歩掛の補正を行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">補正後の歩掛 = (標準歩掛) × (補正係数)</p> $y = \frac{x^{0.613}}{x^{0.613}}$ <p>y : 補正係数                      x : 設計延長 (km)</p> <p>なお、設計延長 x (km) は、小数第2位まで入力し、補正係数 y は、小数第2位 (小数第3位四捨五入) まで算出する。</p> <p style="text-align: center;">参7-B-7</p>	コード番号	SC890	区分	職 種	直 接 人 件 費			備 考	技師 ( B )	技師 ( C )	技 術 員	現 地 調 査		0.8				平 面 図 作 成			0.8	3.3		縦 断 図 作 成				1.0		横 断 図 作 成			0.2	1.3		土 工 数 量 算 出		0.3	0.7	0.7		構 造 物 数 量 算 出		0.3	0.7	1.6		照 査		0.5				合 計		1.9	2.4	7.9		<p><b>第2節 補完業務委託積算基準</b></p> <p><b>2-1 適用範囲</b>                      本歩掛は、道路、河川の設計において与えられた資料にもとづいて土工（路盤舗装等の面積算出を含む）及び構造物の数量を算出するものである。                      本歩掛表は下記に示す範囲の設計業務に適用する。</p> <p>1) 当初の実施設計または詳細設計の資料を与え、それを基本として土工及び構造物等の数量のみを見直す場合に適用する。                      2) 中心線、縦断、横断を変更する場合には適用しない。                      3) 測点間隔は20mを標準とする。</p> <p><b>2-2 業務委託料の積算</b>                      「設計業務等積算基準」に準ずる。</p> <p><b>2-3 土木、構造物等数量算出歩掛</b>                      (1) 標準歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">コード番号</td> <td style="text-align: center;">SC890</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(1式当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>技師 ( B )</th> <th>技師 ( C )</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 地 調 査</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平 面 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦 断 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横 断 図 作 成</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土 工 数 量 算 出</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構 造 物 数 量 算 出</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">4.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(備考) 1. 図面作成については、必要に応じてそれぞれの歩掛を計上する。                      2. 設計協議のメンバーは、技師 ( B ) 1名程度を標準とする。</p> <p>(2) 標準歩掛の補正                      次式により標準歩掛の補正を行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">補正後の歩掛 = (標準歩掛) × (補正係数)</p> $y = \frac{x \times (163.51 x^{-0.387})}{x \times (163.51 x^{-0.387})} / 100$ <p>y : 補正係数                      x : 設計延長 (km)</p> <p>なお、設計延長 x (km) は、小数第2位まで入力し、補正係数 y は、小数第2位 (小数第3位四捨五入) まで算出する。</p> <p style="text-align: center;">参7-B-7</p>	コード番号	SC890	区分	職 種	直 接 人 件 費			備 考	技師 ( B )	技師 ( C )	技 術 員	現 地 調 査		0.5				平 面 図 作 成			0.5	2.0		縦 断 図 作 成				0.6		横 断 図 作 成			0.1	0.8		土 工 数 量 算 出		0.2	0.4	0.4		構 造 物 数 量 算 出		0.2	0.4	1.0		照 査		0.3				合 計		1.2	1.4	4.8	
コード番号	SC890																																																																																																																							
区分	職 種	直 接 人 件 費			備 考																																																																																																																			
		技師 ( B )	技師 ( C )	技 術 員																																																																																																																				
現 地 調 査		0.8																																																																																																																						
平 面 図 作 成			0.8	3.3																																																																																																																				
縦 断 図 作 成				1.0																																																																																																																				
横 断 図 作 成			0.2	1.3																																																																																																																				
土 工 数 量 算 出		0.3	0.7	0.7																																																																																																																				
構 造 物 数 量 算 出		0.3	0.7	1.6																																																																																																																				
照 査		0.5																																																																																																																						
合 計		1.9	2.4	7.9																																																																																																																				
コード番号	SC890																																																																																																																							
区分	職 種	直 接 人 件 費			備 考																																																																																																																			
		技師 ( B )	技師 ( C )	技 術 員																																																																																																																				
現 地 調 査		0.5																																																																																																																						
平 面 図 作 成			0.5	2.0																																																																																																																				
縦 断 図 作 成				0.6																																																																																																																				
横 断 図 作 成			0.1	0.8																																																																																																																				
土 工 数 量 算 出		0.2	0.4	0.4																																																																																																																				
構 造 物 数 量 算 出		0.2	0.4	1.0																																																																																																																				
照 査		0.3																																																																																																																						
合 計		1.2	1.4	4.8																																																																																																																				